令和5年度　情報

学校番号	2003

教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
情報	情報の科学	選択	1+1	第3年次前期・後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	最新 情報の科学 新訂版
②	自作教材	プリント
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解するとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得し、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身につける。

教科からのメッセージ（学習方法 等）

講義と実習を行い、小テスト、課題、実習への取り組みで評価し、中間考査や期末考査は行いません。実習では情報機器の操作だけでなく、コミュニケーション能力の育成のため、グループワークを行います。

特記事項

「情報の科学α」（前期）と「情報の科学β」（後期）のどちらか一方のみの選択も可。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	関心・意欲・態度	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報及び情報技術を活用し、情報社会の発展に主体的に寄与しようとする。	授業態度、ふりかえり、実習課題等
B	思考・判断・表現	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響及び身のまわりの問題を解決するために情報及び情報技術を活用することについて、科学的な考え方を生かし、思考を深め、適切に判断し表現している。	小テスト、プレゼンテーション等
C	技能	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付け、効果的に活用している。	実習課題、プレゼンテーション等
D	知識・理解	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための知識を身につけ、情報社会を支える情報と情報技術の役割や影響を理解している。	実習課題、小テスト等
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	4月・5月	① ②	情報とコンピュータ ネットワークの仕組と情報システム	12	コンピュータの仕組みとディジタル化の仕組(BD) ネットワークの仕組みと情報システムと情報セキュリティ(BD)	B D	コンピュータの仕組みやディジタル化の仕組みについて理解する。(BD) ネットワークの仕組みと情報システムと情報セキュリティについて理解する。(BD)	講義と実習	実習課題 小テスト プリント等提出物 ふりかえり	5 4 3 2 1
	5月・6月	① ②	データベースの仕組と活用	12	データベース(ABCD)	A B C D	データベースの仕組について理解し、簡単なデータベースを作成することができる。(ABCD)	講義と実習	授業態度 実習課題 小テスト プリント等提出物 ふりかえり	5 4 3 2 1
	8月・9月	① ②	問題解決のためのコンピュータ活用	12	問題解決(ABCD)	A B C D	コンピュータを活用して問題を解決するために取り組むことができる。(ABCD)	実習	授業態度 実習課題 プレゼンテーション 小テスト プリント等提出物 ふりかえり	5 4 3 2 1
後期	10月・11月前半	① ②	情報技術と社会	12	情報社会と技術(ABCD)	A B C D	情報社会で使われている技術とその影響について理解するとともに、課題を見い出すことができる。(ABCD)	講義と実習	授業態度 実習課題 プレゼンテーション 小テスト プリント等提出物	5 4 3 2 1
	11月後半・12月	① ②	問題解決のためのコンピュータ活用	12	問題解決(ABCD)	A B C D	コンピュータを活用して問題を解決するためにグループで取り組むことができる。(ABCD)	問題解決実習	授業態度 実習課題 プレゼンテーション 小テスト プリント等提出物	5 4 3 2 1
	1月	① ②	アルゴリズムの基礎知識	6	アルゴリズム(ABCD) プログラミング(ABCD)	A B C D	アルゴリズムの基本的な考え方を理解し、それをもとに簡単なプログラミングができる。(ABCD)	講義と実習	授業態度 実習課題 小テスト プリント等提出物	5 4 3 2 1